

9月1日は「防災の日」です 家族で決めておこう 災害時の行動

災害時の行動

災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。いざという時のため、日頃の備えや心構えが大切です。家庭内で十分話し合い、避難場所や避難する時の経路などを確認しておきましょう。また、家族の連絡方法として、遠方の親戚などに連絡し情報を取り次いでもらう方法や、NTTの「災害伝言ダイヤル171」、携帯電話会社の「災害伝言板」を活用するなど家族で決めておきましょう。



災害用伝言ダイヤル171とは

災害伝言ダイヤルは、大地震や台風などによる大規模な風水害が発生し、電話がつながりにくくなった場合、伝言を残したり、聞いたりすることができるシステムです。

災害用伝言ダイヤルは、公衆電話や携帯電話・PHSからも使用可能です。1伝言あたり30秒、1電話番号あたり1〜10件の伝言を残すことができます。録音保存期間は48時間です。災害時の安否確認に有効な手段の1つです。

あらかじめ避難場所の確認を

市では、宿泊が可能な二次避難場所を別表のとおり34カ所指定しております。お近くの二次避難場所を確認しておきましょう。

(別表)

我が家でできる簡単防災チェック

この機会にチェックしてみましょう。特に備蓄食料については、市では避難所生活が必要となる想定避難者分のみ備蓄を行っております。したがって、各家庭における備蓄が大切となります。

- 非常食（家族3日分）を備えてある※1
- 飲料水（1人1ℓ・家族3日分）を備えてある※1
- 懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池を用意してある
- 非常用持ち出し袋を用意してある
- 風呂に水をため置きしてある
- 救急医療品を用意してある
- 衣類、下着、毛布などを用意してある
- 冷蔵庫など大型家電や家具の転倒防止をしてある※2
- タンスや本棚の上に重い物を置いていない※2
- ブロック塀や石垣を補強してある
- ガスの元栓や電気のブレーカーの位置を確認してある
- 日頃から地域での活動や人付き合いを大切にしている
- 自宅の耐震性を確認している（昭和56年5月以前の木造住宅の場合は建築士に相談してみましょう。）※3

- ※1 市では、ローリングストック法による備蓄を推奨。はじめに、いつもの2倍の食品などを購入。半分の量を使ったら、同じ量を購入し補充する方法。
- ※2 過去の震災では、建物に特別な被害がなくとも、家具の転倒や散乱により逃げおくれたり室内でケガをされたりした方が多数発生しています。
- ※3 市建築課では、年5回耐震相談会を開催しています。また、昭和56年5月以前の木造住宅の耐震診断及び耐震改修の補助を行っています。

No.	二次避難場所	所在地
1	中央公民館	茂原101
2	図書館	八千代2-9
3	総合市民センター	町保13-20
4	茂原小学校	茂原614
5	西小学校	茂原1229-1
6	萩原小学校	萩原町1-17
7	東部小学校	東部台1-9-1
8	茂原市市民体育館	高師2165
9	茂原中学校	高師427
10	長生高等学校	高師286
11	茂原高等学校	高師1300
12	茂原樟陽高等学校	上林283
13	東郷小学校	谷本142
14	東中学校	東郷301
15	千葉県生涯大学校外学園	本小鬱319-1
16	東郷福祉センター	谷本1887-1
17	鶴枝小学校	上永吉955
18	鶴枝公民館	上永吉1012
19	中の島小学校	中の島町451
20	中の島幼稚園	下永吉1056-2
21	二宮小学校	国府関1415-1
22	富士見中学校	押日1468
23	緑ヶ丘小学校	緑ヶ丘4-38
24	西陵中学校	緑ヶ丘1-53
25	豊田小学校	長尾156
26	豊田福祉センター	長尾148
27	五郷小学校	綱島1185
28	五郷福祉センター	綱島656
29	早野中学校	早野206-1
30	本納中学校	本納1623
31	本納公民館	本納1600
32	新治小学校	下太田150
33	豊岡小学校	弓渡255
34	豊岡福祉センター	粟生野2675-4